

# 業務システムの開発・導入を「ワンストップ」で対応 企業DX化の更なる進展が追い風になる

## デイ・アイ・システム

当社の特徴・強み

品質の高さで10期連続増収  
IT教育事業にも注力

当社は、1997年11月に  
4名の社員でソフトウェアの



長田光博会長(左) 富田健太郎社長(右)

Profile ●ながた・みつひろ  
1952年 9月生まれ  
1980年 3月 株式会社経営情報センター入社  
1989年 11月 同社取締役就任  
1993年 4月 株式会社エム・アイ・シー・システム 取締役  
1996年 12月 同社代表取締役就任  
1997年 11月 有限会社デイ・アイ・システム設立  
1999年 7月 株式会社組織変更 当社代表取締役社長就任  
2019年 12月 当社代表取締役会長就任(現任)

Profile ●とみた・けんたろう  
1973年 9月生まれ  
1999年 2月 株式会社アイ・エス・ケー入社  
2001年 2月 当社入社  
2005年 4月 ネットワークビジネス部課長  
2006年 4月 取締役ネットワークインテグレーション 部長就任  
2014年 10月 常務取締役事業統括担当就任  
2015年 1月 アスリープレインズ株式会社 取締役就任  
2019年 12月 当社代表取締役社長就任(現任)

シオン(SI)事業へと展開してまいりました。現在では従業員数が約580名となり、業務支援で連携しているビジネスパートナーを加えると約700名体制で運営をしております。

セグメントにつきましては、主力となるSI事業のほかに、中堅技術者向けとなる専門性の高いIT研修から新入社員向けのIT研修までを行う、教育サービス事業も展開しております。

NTTコミュニケーションズなど大手企業との長期取引で培われた高い品質と、IT通信業・金融業・流通業・医療・官公庁等の幅広い業種に対応していることなどを背景に、売上高は2010年9月から10期連続増収を達成しており、前期(2020年9月期)においては、売上高42.8億円と過去最高を更新いたしました。

業務システムの開発・導入に必要な全工程のサービスをワンストップで提供

当社SI事業の大きな特徴は、「ワンストップ対応」が可能である点です。一般的な業務システムの開発工程では、工程ごとに別会社へ発注することも多く、その際には、発注者は余分なコストが発生してしましますが、当社では、業務システムの開発・導入に必要な全工程のサービスをワンストップで提供できるため、生産性が高く、発注者がコストを低減することが可能です。特定の工程や業種に特化したSI企業は多く存在しますが、当社のように幅広い業種に対応でき、さらにワンストップでサービスを提供できるSI企業はそう多くはないものと自負しております。

また、新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした新しい生活様式により、昨今ではクラウドサービスやリモートワーク関連、GIGAスクール案件などの引き合いが増加傾向にあります。今後、デジタル庁の新設に伴い、企業のDX化はさらに促進するものと予想され、当社においてもDX推進サービスの拡充に注



▲昨年リリースした「リモート研修サービス」

力しております。中でも、ECサイト(ショッピングサイト)やワークフロー(申請・決裁システム)の構築は得意分野としており、豊富な実績を誇っております。

IT教育事業は  
新卒採用後の早期戦力化にも貢献

教育サービス事業では、昨年4月に「リモート研修サービス」をリリースいたしました。インターネット環境さえあれば、受講場所にとらわれずに遠隔地からでもIT研修を受講いただけます。ライブ配信で講義を行うことから、

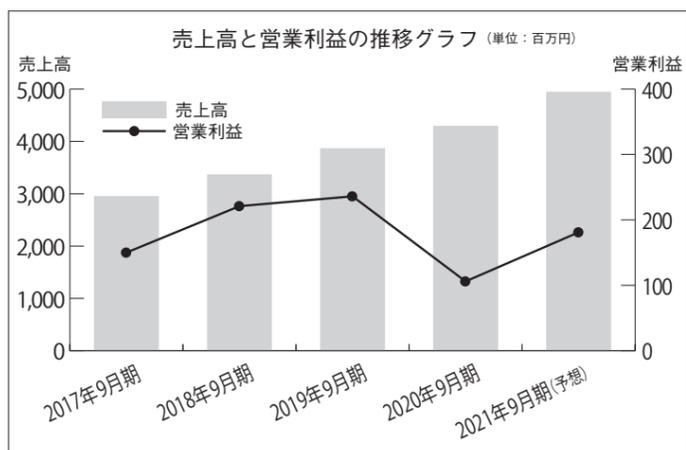
受講中のチャット質問も可能です。さらに、ITソリューション(各種ビデオ会議ツール・ビジネスチャットツール)を効果的に組み合わせることにより、グループワークによる体験型学習も実現いたします。新しい生活様式下におけるリモート研修の需要は、今後も増加するものと見込まれます。

また、教育サービス事業は、当社の新入社員の獲得・採用後の早期戦力化にも貢献しています。顧客に提供している高品質な研修プログラムを、当社新入社員の研修プログラムとしても展開しているため、入社後のステップアップがイメージしやすく、新入社員の獲得につながることも、採用後の早期戦力化がはかれます。

### 目指す未来

3カ年の中期経営計画を推進  
近い将来で売上高100億円到達を目指す

昨年11月に、「中期経営計画(2021年9月期〜2023年9月期)」を策定いたしました。「人材の確保及び育成」「キーワード(業)もり需要、



脱ハンコ、リモートワーク等)に応じたIT技術の提供」、「内部管理体制の強化」等を経営方針に、Withコロナ時代における市場ニーズを享受できる体制づくりを積極的に推進し、中期経営計画最終年度の2023年9月期には、売上高65.1億円、営業利益3.1億円の達成を目指します。

当社の自社開発製品には、セキュリティ研修やコンプライアンス研修などをリモート環境下にて実施可能なエラーニングシステム(「Cornelius LMS」)や、職域健診機関で利用されているストレスチェック処理システム(「Cornelius SC S」)などがあります。これらに続く、新たな自社製品開発にも注力してまいります。

また、現在は大手SIer、Nier企業の一次請け二次請け案件が取引の大部分を占めておりますが、今後は元請け案件の拡大にも注力してまいります。当社は10年以上にわたり、住友電工情報システム社のアプリケーション「楽々Framework」を用いた開発を手掛けており、近年、同業業関連の元請け案件が増加傾向にあります。特に、「楽々Framework」を使用した中小規模案件を開発するプレイヤー数は、業界全体でもその多くはありません。そのニーズを取り込み、元請け案件の増

加をはかります。前期の元請け比率は、前期比2.3ポイント増の16.3%でした。将来的には25%程度まで上昇させ、利益率の改善をはかってまいります。これらの施策の先に、中長期成長ビジョンとして売上高100億円、営業利益10億円への到達を掲げており、近い将来での達成を目指します。

### 株主還元について

配当性向25%〜30%を目指した  
安定的な配当を維持

将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保する一方で、長期的で安定した配当の継続を、当社配当方針の基本としております。

当期の配当につきましては、年間1株当たり12.5円(配当性向31.5%)を予定しております。(※2021年1月1日付で1株につき2株の割合をもって株式を分割しているため、実質、前期実績25円から据え置きとなります。)

今後、配当性向25.0%〜30.0%を目指した安定的な配当を維持してまいります。

企業メモ

Di System

[事業内容] 業務システムの開発・導入をワンストップ対応するシステム開発企業。システムインテグレーション事業とIT教育サービス事業が主軸。通信、金融、官公庁向けに強み。

業績	売上高	営業利益	経常利益	純利益
2020年9月期	42億8300万円	1億600万円	1億900万円	7700万円
2021年9月期予想	49億3300万円	1億8100万円	1億8000万円	1億2100万円

決算:9月 単元株数:100 配当予想:12円50銭(前期実績は25円※株式分割を考慮すると、今期は配当金額は据え置き)

本社所在地:東京都中野区中野4-10-1 中野セントラルパークイースト2F  
問い合わせ:03-6821-6122 <https://www.di-system.co.jp/>